

運動の徹底的打破を宣言した。大阪に於ても亦大阪
機械労働組合の闘士より成る茶袋党に決死的活動を
為すべく申し合せの處があつた。

二 革新派の策動

一方革新同盟は内部の結束を固むると共に輿論に訴
ふべく四月二十六日関東地方評議会本部に労働団体
及思想団体の代表者並に新聞記者を招いて事件の経
過を説明して諒解に努むる處あり翌二十七日には協
調会館に真相発表演説会を催した。知幹部派が城内に
於てビラを撒き且弥次り倒さんとしたので両者の乱
闘とより多数の換束者を出して解散を命ぜられるに
至つた。

猶五月一日東京に於けるメーデー示威大会に際して
日演説会場に於て相当兩派の争があつたが演説会場
及び行進中に兩派の目ぼし闘士が換束されてしまつた
ので給糧を見らるに至らなかつた。

三 九州聯合會の態度と高山義三の調停

当初よりけい中立の態度に在つて或は調停の勞を執
るに至らむかと思はれた九州聯合會は四月十七日午
件に突する最高幹部会を開いたが存続し得らる形勢
を觀望するに決した。茲に於て高山義三は旧友慶會
幹部と共に四月十八日神戸に於て調停運動を開始し
たが兩派共之を相手方の策動に出づるとして一信
頼せず調停其の効を奏せなかつた。

四 二十三組合除名

かくて事件は遂に收拾すべからざるに至り且荏苒日
々送ることは革新同盟を利するの結果と亦すべき情
勢が見えたのを大阪聯合會は革新同盟に加はれず大
阪系刷新労働組合大阪電気労働組合の二者を除名する
ことと及び刷新運動を打切らしむることとを中央委員
會に要求したので五月十六日総同盟は本部に中央委
員會を開き、主席西尾及十名の中央委員(九州欠席)出